

令和2年8月

関係各位

全国中学校理科教育研究会
会長 山口晃弘
第68回全国中学校理科教育研究会広島大会
運営委員長 橋本裕治

第68回全国中学校理科教育研究会 第57回中国四国中学校理科教育研究会 第65回広島県中学校理科教育研究大会

広島大会

一次案内

主催

全国中学校理科教育研究会
中国四国中学校理科教育研究会
広島県中学校教育研究会理科部会

後援(申請中を含む)

文部科学省
国立研究開発法人科学技術振興機構
全日本中学校長会
全国小学校理科研究協議会
日本理化学協会 日本生物教育会
日本地学教育学会
広島県教育委員会 広島市教育委員会
広島県公立中学校長会
広島市立中学校長会
広島市小学校理科研究会

協賛(予定)

(公社) 日本理科教育振興協会
(公財) 東シ科学振興会
(公財) ソニー教育財団
(公財) 日本教育公務員弘済会広島支部



「写真提供:広島県」

【研究主題】 理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、
豊かな未来を切り拓く理科教育

【大会主題】 主体的・対話的で深い学びの実現を通して、
科学的に探究するために必要な資質・能力を育む理科教育

【開催期日】 令和3年7月28日(水)～30日(金)

【開催会場】 ANAクラウンプラザホテル広島・広島国際会議場(平和記念公園内)

研究主題

理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、
豊かな未来を切り拓く理科教育

大会主題

主体的・対話的で深い学びの実現を通して、
科学的に探究するために必要な資質・能力を育む理科教育

大会主題設定にあたって

情報化やグローバル化等の社会的変化が、加速度的に進展し、将来の予測が困難な時代にあって、未来を担う子供たちが、自信を持って自分の人生を切り拓き、他者と協働してよりよい社会を創り出す力を確実に育てていくことが期待されている。

こうした中、平成 29 年 3 月に告示された学習指導要領では、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習の質を高める授業改善を推進することを求めている。

理科においては、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するため、生徒が主体的に、「課題の把握（発見）」、「課題の探究（追究）」、「課題の解決」という探究の過程を通じた学習活動を行い、それぞれの過程において、資質・能力が育成されるよう指導の改善・充実を図ることを目指している。

平成 30 年度に実施された全国学力・学習状況調査の結果では、「習得した知識・技能を活用して、観察・実験の結果を分析して解釈すること」には改善がみられるものの、「実験や条件制御などにおいて、自分や他者の考えを検討して改善すること」や「自然の事物・現象に含まれる要因を抽出して整理し、条件を制御して実験を計画すること」に課題があることが指摘されている。また、生徒質問紙「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか」の肯定的評価の割合が依然として低く、理科を学ぶことの意義や有用性の実感に課題があることなども指摘されている。

これらのことを踏まえ、本大会では、大会主題を「主体的・対話的で深い学びの実現を通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育む理科教育」と設定した。

「主体的な学び」とは、子供たちが見通しをもって学習に取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる学びと捉える。子供たちが、自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって課題や仮説の設定をしたり、観察・実験の計画を立案したりする学習や、観察・実験の結果を分析し解釈して仮説の妥当性を検討したり、全体を振り返って改善策を考えたりする学習、得られた知識及び技能を基に、次の課題を発見したり、新たな視点で自然の事物・現象を把握したりする学習の充実を図る必要がある。

「対話的な学び」とは、他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める学びと捉える。課題の設定や検証計画の立案、観察・実験の結果の処理、考察する場面などで、自分の考えと他者の考えを比較しながら意見交換したり、科学的な根拠に基づいて議論したりして、自分の考えをより妥当なものに修正する学習の充実を図る必要がある。

「深い学び」とは、習得・活用・探究という学びの過程の中で、「理科の見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、科学的な概念を形成したり、新たな問題を見出して解決策を発想したりする学びと捉える。理科で育成を目指す資質・能力を獲得できているか、知識がつながって、より科学的な概念を形成することに向かっているか、新たに獲得した資質・能力に基づいた「理科の見方・考え方」を、次の学習や日常生活などにおける問題の発見や解決の場面で働かせているかなどの視点から、授業改善を図る必要がある。

こうした「主体的・対話的で深い学び」の実現を通して、子供たちが、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力を養い、自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究する態度を養うことができるようになる。

今大会では、本大会主題を基に、教育課程、学習・評価、観察・実験、環境教育の 4 分科会の研究発表、討議を通して、全国各地の研究内容を深め、これからの理科教育を模索したい。

開催期日・会場

令和3年7月28日(水)～30日(金)
ANAクラウンプラザホテル広島・広島国際会議場(平和記念公園内)

日 程

1日目 7月28日(水)【会場:ANAクラウンプラザホテル広島】

13:30	14:00	15:20	15:30	16:50	17:20	18:10	18:30	20:30
受付	役員会		理事会	写真	ブロック会		レセプション	

2日目 7月29日(木)【会場:広島国際会議場】

9:00	9:30	10:30	12:00	13:30	17:00
受付	開会式	文部科学省講演	昼食	分科会	

3日目 7月30日(金)【会場:広島国際会議場】

8:30	9:00	9:30	11:00	12:00
受付	全体会	記念講演	閉会式	エクスカージョン(教育視察)

分 科 会

分科会名	分科会主題と視点
第1分科会 教育課程	科学的に探究するために必要な資質・能力を育む教育課程 ① 3年間を通じて計画的に資質・能力を育成する教育課程 ② 日常生活や社会、他教科との関連を図った教育課程
発表担当ブロック	北海道 東北 東京 近畿 中四国 九州
第2分科会 学習・評価	主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導と学習評価 ① 単元を見通して育む資質・能力を育成する学習指導と学習評価 ② 自己の学びの深まりを自覚させる学習指導と学習評価
発表担当ブロック	北海道 東北 中部 近畿 中四国 私立・国立
第3分科会 観察・実験	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって科学的に探究する観察・実験 ① 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって行う観察・実験 ② 科学的な根拠を踏まえ、論理的な思考に基づいて分析・解釈する観察・実験
発表担当ブロック	北海道 関東甲信越 東京 中部 中四国 九州
第4分科会 環境教育	自然と調和しながら持続可能な社会をつくっていくために必要な力を育む環境教育 ① 自然の事物・現象に進んで関り、科学的に探究しようとする態度を養う環境教育 ② 科学的な根拠に基づいて賢明な意思決定ができる態度を育む環境教育
発表担当ブロック	関東甲信越 東京 中部 近畿 中四国 私立・国立

講 演

文部科学省講演 「演題未定」
講師 文部科学省
学 術 講 演 「マツダのものづくり・開発革新への挑戦」
講師 (株)マツダ ○○ ○○(未定)

